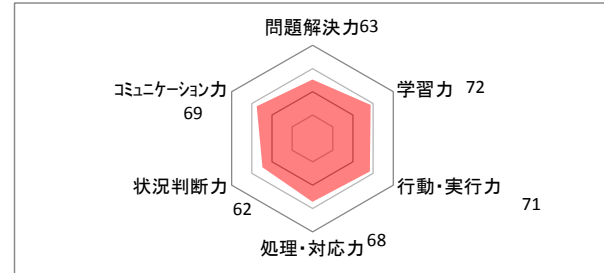


A. 性格・気質傾向

		30	40	50	60	70	80	90		
		低い場合の特徴				高い場合の特徴				
a	積極性	指示にともない被風立でず行動する				◆ 65				自発的な意思・判断で失敗を恐れず行動する
b	外向性	特定の人や物事のみに関わろうとする				◆ 83				様々な人や物事に関わろうとする
c	柔軟性	相手や状況に影響されず考えや行動をつらぬく				◆ 85				相手や状況にあわせて考えや行動を変えられる
d	配慮・サービス性	相手から何を求められているか気にならない				◆ 65				相手が求めることや喜ぶことを進んでやる
e	機敏性	素早い対応が求められてもじり取り組む				◆ 65				周囲の要求や不測の事態にも的確に応じる
f	緻密性	細かいことにとらわれず物事を進める				◆ 60				細かい所に目が届きミスなく物事を進める
g	誠実さ・責任感	他人の担当する仕事にまでは踏み込まない				◆ 65				全て自分の責任だと考えて物事に取り組む
h	明朗性	状況に応じて気持ちが変動する				◆ 65				どんな時でも明るくにごこしている

B. 能力傾向



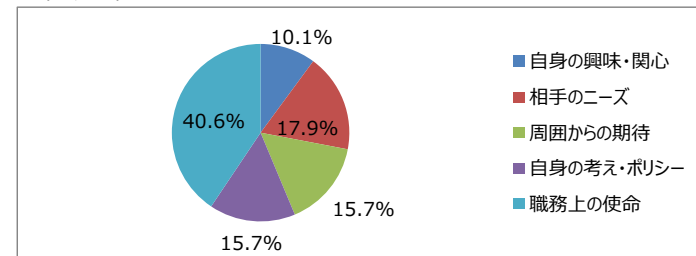
◇総論

あなたは、物事の見方に関するバランスが優れており、自分の興味・関心に左右されたり、常識に縛られることなく、常に客観的な視点をもつことができるタイプと言えるでしょう。また、人の意見を聞くこと、自分自身で考えることのどちらにも偏ることなく、適切に判断できる傾向があります。

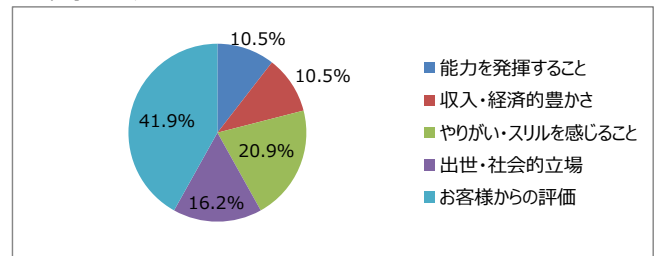
さらに、自分の身の回りに起きる出来事を常に前向き受け止め、未来に向かってポジティブに行動するため、困難な状況に置かれた場合でも臆することなく取り組んでいける姿勢もあるようです。

ただし、好調な時と不調な時で気分や行動にムラがあるようです。例えば、仕事に対する姿勢に違いが現れたり、冷静に判断できなくなってしまうという傾向は避けたいでしょう。その時々で気分が左右されないためにも、物事に取り組む際に一呼吸おいて、自分の状況を客観的に見つめる習慣づくりを心がけてみましょう。そうすることで、どのような状況に置かれても、心の余裕を持って対応することができるでしょう。

C. 行動基準



D. 仕事への動機



E. コミュニケーション

		30	40	50	60	70	80	90	
		低い場合の特徴				高い場合の特徴			
a	気持ちの理解ができる	◆ 68				振る舞い・表情等から相手の心を正しくつかむことができる			
b	適切な表現ができる	◆ 68				自分の意図をわかりやすく説明したり、伝えることができる			
c	関わる姿勢がある	◆ 72				積極的に相手に関わり、接していくことができる			
d	気持ちや状況を察する	◆ 68				相手の状況や、本心を理解しようとする			
e	適切な対応ができる	◆ 71				適切な対応を迅速に行うことができる			

F. エモーションルコンディション

		30	40	50	60	70	80	90	
		低い場合の特徴				高い場合の特徴			
a	前向きである	◆ 71				何事も前向きにとらえ、ポジティブに進んでいくことができる			
b	自信がある	◆ 66				自分の強み・弱みを受け止め、理解した上で、将来の可能性を信じて、考え、思いを貫こうとする			
c	オープンである	◆ 71				周囲に対して自分の気持ちや考えを素直に表現し、より多くの人と関わっていくことができる			
d	情緒的に安定している	◆ 63				感情の起伏やムラが少なく、常に落ち着いて対応する			

G. ストレス耐性

		30	40	50	60	70	80	90		
		低い場合の特徴				高い場合の特徴				
a	人間関係のストレス	人と関わりあうことに不安やストレスを感じる				◆ 66				周囲の意見を受け止め自分の考えも主張できる
b	仕事の負荷量のストレス	仕事の負荷量が多いと不安やストレスを感じる				◆ 57				仕事の負荷量が多くても負担には感じない
c	矛盾・曖昧さのストレス	はっきりしないことが不安やストレスを感じる				◆ 47				不明確な状況や納得できない事も受け入れられる
d	評価に対するストレス	不適切だと思う評価に不安やストレスを感じる				◆ 49				他者からどう評価されているか気にならない

H. 仕事の学びスタイル

		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100		
		高い場合の特徴												
a	自分の興味・関心で学ぶ	◆ 60												全体の構造よりも先に部分（要素）・事実や現象に着目する傾向
b	構造的・体系的に考える	◆ 56												部分（要素）よりも全体の構造（枠組み）に着目する傾向
c	自発的に解明する	◆ 78												まず、自ら考え、周囲に自分の考えを伝えていく
d	人から教わる	◆ 70												まず、周囲からの情報を素直に受け止める

I. フィットする仕事スタイル

		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
a	全体の仕組みや流れを考えていく	◆ 64											
b	細部にも気配りをし正確さを求めていく	◆ 70											
c	話し上手を活かしていく	◆ 64											
d	聞き上手を活かしていく	◆ 53											
e	スペシャリストを目指していく	◆ 55											
f	ジェネラリストを目指していく	◆ 67											
g	みんなを引っっぱっていく	◆ 53											
h	周囲の人たちをサポート	◆ 67											
i	自分で仕事をつくっていく	◆ 65											
j	与えられた仕事を着実にこなしていく	◆ 60											
k	一人で仕事を進めていく	◆ 35											
l	チームで仕事を進めていく	◆ 79											

J. フィットする組織風土

		90	60	30	0	30	60	90	
a	育成型	◆ 10						自立型	
b	安定的	◆ 11						革新的	
c	管理型	◆ 17						権限委譲型	
d	年功序列型	◆ 10						成果主義型	
e	ビジネスライク	◆ 10						アットホーム	

K. 日常で見られる傾向

		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100		
		日常に以下のような行動が多くみられる可能性が高い												
a	気分や行動にムラがある	◆ 72												気持ちや仕事の姿勢に波があり、冷静に判断・対応できない
b	感情的・衝動的である	◆ 70												その時々で感情に左右されたり、短絡的な結論を求めてしまう
c	思い込みが強い	◆ 35												信念を貫こうとする反面、周囲の声を受け入れられない
d	攻撃性・外罰性が高い	◆ 63												自分の責任を省みず、他者や環境を責めてしまう
e	指示・管理を嫌う	◆ 40												指示や注意を受け入れられなかったり、管理されることを拒否する
f	自意識が過剰である	◆ 50												自身の存在や能力を誇示し、他者の意見を考慮しない
g	協調性が低い	◆ 57												自分と相手をきっちり分け、相手のリズムに合わせない
h	孤立しがちである	◆ 50												周囲に同調できず、受け入れてもらえない原因を自ら生み出す
i	約束を守らないことが多い	◆ 38												やるべきことや、約束・責務を果たせない
j	お客様から誤解を招きやすい	◆ 50												お客様を理解しようとする姿勢が弱く適切な対応・返答ができない
k	社内から誤解を招きやすい	◆ 53												社内の人たちから、理解されにくい状況を生み出してしまふ
l	ホスピタリティが低い	◆ 49												気遣いや配慮が乏しくなってしまう
m	人に関わろうとしない	◆ 51												人とのかかわりをわずらわしく感じたり、積極的に関わろうとしない